

三陸ジオパークとは？

三陸ジオパークは、青森県八戸市から岩手県の沿岸を縦断して宮城県気仙沼市までのエリアで、平成25年9月に日本ジオパークとして認定されました。南北約220km、東西約80kmで、その海岸線は約300kmにもおよぶ日本一広大なジオパークです。

三陸地域では、太古の時代から続く地球の営みが長い時間をかけて少しずつ地球の活動によって形成してきたさまざまな自然の造形を見ることができ、それらには今日までの地球の歴史が刻み込まれているのです。

その痕跡を「科学の目」を通してみることで、いつ、どこで、どのようにしてできてきたのかを知ることができます。三陸地域は、地球活動の歴史を実際に見ることができる地域（ジオサイト）に恵まれています。

大槌町のジオサイト

- ・源水川（湧水）とイトヨ生息地
- ・浪板海岸
- ・蓬萊島

ジオサイトを歩きませんか？

みちのく潮風トレイル

～大槌町ルート～

東北の太平洋沿岸部を歩いて旅する道「みちのく潮風トレイル」の大槌町ルートは、大槌町のジオサイト3か所を歩いて回ることができます。



大槌町の自然をたくさん感じてみてください。

←詳細は公式HP参照。



大槌町三陸ジオパーク推進協議会 (事務局：大槌町産業振興課)

岩手県上閉伊郡大槌町上町1番3号
(0193) 42-8725
shoukou@town.otsuchi.iwate.jp

大槌町のジオサイトの「今」や観光情報等は観光PR公式SNSにて随時発信中！ぜひフォローをお願いします。



X: @otsuchi_PR



Instagram: @otsuchi_pr

www.town.otsuchi.iwate.jp

自然の魅力いっぱい！ 大槌町ジオサイト



写真：浪板海岸

※Instagramキャンペーン2018 1位作品



源水川とイトヨ生息地

大槌町の中心部である大槌川と小鎚川に挟まれた町方地区には、自噴井（じぶんせい）を見ることができます。これは山が海までせまる三陸の地形により河川が急勾配で海に流れ下り、その過程で上流から浸透した地下水が高い圧力で流れ下り海水の圧力とも相まって一部が自噴井として湧き出しています。また表層に近い地下水は源水川の湧き水ともなり、古くから生活用水として使われてきました。

これらの湧水は年間を通して水温・水質が一定であることから、県内唯一の淡水型イトヨの生息地となっており、貴重な生態の保護活動が行われています。

アクセス：【大槌消防署まで】三陸鉄道大槌駅から徒歩10分、三陸沿岸道路大槌ICから車で10分
※大槌消防署の前にあります。

浪板海岸

リアス海岸のなかでも比較的開けた船越湾にあり、広く太平洋を望むことができる浪板海岸。海からの波が寄せては返さない「片寄せ波」で知られる砂浜です。遠浅で波の力が緩衝されやすいことや、寄せた波が粗い砂の間に吸われてしまうことで返す波がないように見えます。

アクセス：三陸鉄道浪板海岸駅から徒歩10分、三陸沿岸道路大槌ICから車で10分
〇浪板海岸で「SUP体験」をしませんか？
SUPA公認インストラクターによるSUPレッスン。体験の舞台はエメラルドグリーンに輝く透き通った浪板海岸。ボードやパドルなどのレンタルも可能。海に慣れる最初のステップとしてぜひチャレンジしてみませんか。
お問い合わせ/K-SURF 電話：0193-44-2340



蓬莱島

町民から「ひょうたん島」の愛称で親しまれ、大槌湾にぽっかりと浮かぶ周囲200mの「蓬莱島」の白い岩肌は、およそ1億2000万年前頃（中生代前期白亜紀）に冷えて固まったマグマからなる花崗岩であり、一方、蓬莱島から西の湾奥一帯は、付加体というおよそ2億数千万年前に海底に堆積し、その後プレート運動にともない大陸側にこすりつけられた岩からできています。また、湾の中に花崗岩の島が浮かんでいる（存在する）のが特徴的であることからジオサイトとして指定されています。

アクセス：【赤浜漁港まで】三陸鉄道大槌駅から徒歩20分、三陸沿岸道路大槌ICから車で10分